

令和 5 年度

事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 海南市社会福祉協議会

目 次

令和5年度 重点事業の成果	1
---------------	---

I. 法人運営事業

1 法人運営事業①	3
2 法人運営事業②	5
3 法人運営事業③	8
4 法人運営事業④	9

II. 地域福祉事業

1 福祉団体への活動助成	10
2 民生委員児童委員等関係事業	11
3 用具等貸与事業	12
4 広報事業	13
5 ボランティア育成事業	15
6 災害ボランティア運営事業	17
7 善意銀行運営事業	20
8 心配ごと相談事業	22
9 福祉教育事業	23
10 ボランティアセンター活動事業、ボランティア活動支援事業	25
11 ふれあい・いきいきサロン支援事業	28
12 地域福祉活動計画進行管理事業	30
13 福祉総合相談事業	31
14 生活困窮者自立相談支援事業	33
15 生活困窮者家計改善支援事業	35
16 地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)	37
17 子どもの居場所づくり支援事業	41
18 認知症見守り・啓発事業	43
19 福祉サービス利用援助事業	44
20 生活資金貸付事業	45
21 生活福祉資金貸付事業	46

III. 在宅福祉事業

1 いきいき介護予防事業	47
--------------	----

IV. その他の関連事業

1 共同募金運動	48
2 赤十字活動資金事業	50

令和5年度 重点事業の成果

★重点事業1 地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)の推進

海南市全域での「生活支援体制」の整備に向けて、多様な主体が情報を共有し、連携及び協働により新たな地域資源が開発されるよう、第1層協議体会議を2回開催し、各所属団体の活動状況や社会貢献活動の現状などを共有しました。

また、住民主体の助け合い活動を地域に広めるため、市と共催で「助け合い社会フォーラム」を開催したほか、ボランティアセンター活動事業と連携し「こども食堂ボランティア養成講座」や「移動支援ボランティア運転者講習会」を実施し、ボランティアグループの立ち上げ支援を行いました。

第2層協議体における活動では、地域活動への参加をはじめ、各種団体への協力依頼や地域のキーパーソンへの働きかけを行ったほか、地域座談会をきっかけとした協議の場づくりを行い、地域資源の掘り起こしや地域課題の把握・共有などに取り組みました。結果、11月に冷水地区、黒江・船尾地区、令和6年2月には内海地区において、新たに協議体が設置されました。

第2層協議体の特徴的な活動として、西部圏域では、日方地区で地域の集いの場を紹介する広報誌を発行したほか、小学校と連携した地域学習として「まちあるき」を実施しました。また6月豪雨災害の際には、被災された世帯への『よりそい訪問』を実施しました。冷水地区では、外出支援ボランティア講習会を実施し、その参加者を中心に設置した第2層協議体では地域の高齢者等の見守り活動を行うグループの立ち上げを行うとともに、高齢者世帯を対象にしたアンケート調査でも希望の多かった移動販売の誘致を行いました。

次に東部圏域においては、亀川地区で小学生を対象に昔のくらしや道具などについて授業を行ったほか、新たな地域の集いの場づくりに向けて協議を行いました。北野上地区では、北野上地区自治会連絡協議会及び自主防災会と合同で6月豪雨災害を振り返る地域座談会を開催し、災害時の状況や平常時のつながり作りについて協議しました。

南部圏域においては、下津地区で、誰でも気軽に参加できるイベントとして「ふれあいイベント」を開催したほか、サロンやラジオ体操など地域活動先に訪問・取材を行い、地域活動をまとめた冊子を作成しました。塩津地区では、挨拶や声かけなどの見守り活動が必要となる世帯を把握するとともに、健康維持増進や参加者同士の交流の場づくりとして、いきいき百歳体操を実施しました。

そのほか、第2層協議体未設置の地区においては、加茂第二地区では事業の概要や必要性の説明を行い、大野地区、加茂第一地区、仁義地区では地域座談会を実施し、地域課題の抽出と意見交換を行い、中野上地区、南野上地区では地域活動に参加し、地域のキーパーソンの把握に努めるとともに、地域資源の掘り起こしや地域課題の把握・共有などに取り組みました。

また、地域の助け合い・支え合い活動との協働実践をすすめるために、社会福祉法人等の団体を訪問し、地域貢献活動や地域との交流についてヒアリング・アンケート調査を行うとともに、活動の中で把握した地域課題の共有を行い、今後の活動について協議を行いました。

★重点事業2 福祉総合相談事業の充実

生活困窮者をはじめ、様々な困りごとを抱えた者からの相談に対し、行政をはじめとする関係機関と連携し本人の置かれた環境や状況に即した適切な支援が行えるよう取り組みました。

その中で、令和5年1月からコロナ特例貸付の償還が開始されたことを受け、償還に関する相談が多く寄せられることを予想して、文書による償還の免除や猶予の手続きに関する案内を送付したほか、借受人からの問い合わせに対する対応や免除申請手続きの支援を行いました。併せて、貸付後の借受人の生活状況を把握し今後のフォローアップ支援に役立てられるよう貸付世帯を対象にアンケートを実施しました。また相談に来られない対象者には、自宅訪問や電話連絡等アウトリーチに努めました。

具体的な事案として、乳児を抱える外国籍夫婦に対し、子育て世代が交流する場として地域の子ども食堂に同行したほか、6月豪雨災害の際には、ボランティア活動を通じて支援につなげた事例や、普段のサロン活動でのちょっとした気づきから支援につなげた事例等もありました。

★重点事業3 災害ボランティア運営事業の強化

6月2日に発生した豪雨災害により被害に遭われた方の生活再建を支援するため、海南市との協定に基づき翌3日から「災害ボランティアセンター」を開設し、7月31日の閉所に至るまで被災者支援を行いました。

センターの運営にあたっては、今までの訓練で培った経験や人のつながりを活かし、地域住民にもスタッフとして運営に携わってもらったほか、学生ボランティアの協力を得て実施しました。

またセンター閉所後には、センター運営を振り返るため、今回活動に参加してもらった県内のボランティアを対象にアンケートを実施したほか、ボランティア参加者や災害ボランティア登録者を対象に交流・報告会を開催し参加者同士の交流を深めました。併せて、今回の経験をより多くの方に伝えるべく各所で報告会を開催するとともに、ホームページにもその内容を掲載しました。

その他、災害ボランティアの登録者拡大については、広報紙やホームページを活用し登録制度の周知に努めるとともに、今回のボランティア参加者にも未登録者を対象に登録の案内を行いました。

I. 法人運営事業	1 法人運営事業①
事業費総額	396,514円
財 源	市補助金、社協会費、一般財源
事業概要	・法人の会務の円滑な運営を図るため、以下の会議を開催します。 理事会、評議員会、監事会及び評議員選任・解任委員会 ・社会福祉の推進に多年にわたり活動を続け、その功績が顕著である方に対して、社会福祉協議会会長より表彰又は感謝の意を表し、その功績と労苦に報いるとともに、社会福祉の増進に資することを目的に社会福祉功労者表彰式を開催します。
実施内容・実績	●会議の開催 【理事会】 第1回：令和5年6月9日（出席理事13名） 議案：令和4年度事業報告、令和4年度法人全体決算、評議員選任・解任委員の選任、評議員選任候補者の推薦、評議員会の招集 報告：会長の職務執行状況、海南市災害ボランティアセンターの開設状況 第2回：令和5年6月30日（出席理事12名） 議案：会長・副会長の選任、令和5年度第1次補正法人全体収支予算、評議員会の招集 第3回：令和6年1月19日（出席理事11名） 議案：評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正、評議員選任・解任委員の選任、令和5年度第2次補正法人全体収支予算、評議員会の招集 第4回：令和6年3月14日（出席理事12名） 議案：令和5年度第3次補正法人全体収支予算、令和6年度事業計画、令和6年度法人全体収支予算、評議員会の招集 報告：会長の職務執行状況 【評議員会】 第1回：令和5年6月26日（出席評議員11名） 議案：令和4年度事業報告、令和4年度法人全体決算、理事の選任、監事の選任 報告：海南市災害ボランティアセンターの開設状況 第2回：令和5年7月10日（出席評議員13名） 議案：令和5年度第1次補正法人全体収支予算 第3回：令和6年1月29日（出席評議員11名） 議案：令和5年度第2次補正法人全体収支予算 第4回：令和6年3月27日（出席評議員14名） 議案：令和5年度第3次補正法人全体収支予算、令和6年度事業計画、令和6年度法人全体収支予算

	【監事会】 令和5年5月22日 監査：令和4年度事業報告及び法人全体決算 【評議員選任・解任委員会】 令和5年6月9日（出席委員4名） 議案：評議員の選任 ●令和5年度海南市社会福祉功労者表彰式 <table border="1"> <tr> <td>開催日</td><td>令和5年10月18日</td></tr> <tr> <td>会場</td><td>海南 nobinos ノビノスホール</td></tr> <tr> <td rowspan="2">被表彰者</td><td> 市社協会長表彰 心配ごと相談員功労者 1名 社会福祉関係団体役員功労者 4名 </td></tr> <tr> <td> 市社協会長感謝 社会福祉事業協助者 1団体 </td></tr> </table>	開催日	令和5年10月18日	会場	海南 nobinos ノビノスホール	被表彰者	市社協会長表彰 心配ごと相談員功労者 1名 社会福祉関係団体役員功労者 4名	市社協会長感謝 社会福祉事業協助者 1団体
開催日	令和5年10月18日							
会場	海南 nobinos ノビノスホール							
被表彰者	市社協会長表彰 心配ごと相談員功労者 1名 社会福祉関係団体役員功労者 4名							
	市社協会長感謝 社会福祉事業協助者 1団体							
地域福祉 活動計画	計画外							

<主な様子>

海南市社会福祉功労者表彰式



<参考資料>

○令和5年度和歌山県社会福祉功労者表彰式

開催日	令和5年10月23日
会場	和歌山県民文化会館
本市被表彰者	県知事感謝
	福祉ボランティア功労者 2団体
	県社協会長表彰
	社会福祉協議会役員・職員功労者 2名
	ボランティア功労者 2団体

I. 法人運営事業	2 法人運営事業②																														
事業費総額	288,424円																														
財 源	社協会費、一般財源																														
事業概要	・社会福祉協議会職員の福祉意識を醸成するための研修等を開催するほか、職責に応じた研修会や県社会福祉協議会が主催する市町村社会福祉協議会役職員研修会に参加します。 ・社会福祉協議会会員の拡大、特に企業・団体・施設等の加入促進を図るため、社会福祉協議会の活動や会員制度の趣旨、会費の使途等の周知に努めます。 ・地域福祉活動の財源確保のため、共同募金をはじめ、国、県、県社会福祉協議会、民間福祉財団等の助成金を活用します。																														
実施内容・実績	●職員研修会の開催 ◇「社協とは？」からはじまる社協職員組織づくり <table border="1"> <tr> <td>開催日</td><td>令和6年2月5日</td></tr> <tr> <td>会 場</td><td>海南保健福祉センター</td></tr> <tr> <td>講 師</td><td>阪南市社協 事務局次長 猪俣健一 氏</td></tr> <tr> <td>参加者</td><td>16名</td></tr> <tr> <td>内 容</td><td>阪南市社協で実践されている社協内のコミュニティワーク等を学ぶとともに、自社協の組織づくりの心構えや取り組みについて考える</td></tr> </table> ●研修会への参加 ◇ファシリテーション研修 <table border="1"> <tr> <td>実施日</td><td>令和5年5月17日</td></tr> <tr> <td>会 場</td><td>県民交流プラザ和歌山ビッグ愛</td></tr> <tr> <td>参加者</td><td>2名</td></tr> <tr> <td>内 容</td><td>課題解決のための効果的な会議の進め方や多職種連携に必要な知識やスキルの習得</td></tr> <tr> <td>主 催</td><td>和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）</td></tr> </table> ◇会計研修（①初任者編、②実務編） <table border="1"> <tr> <td>実施日</td><td>①令和5年8月3日、②令和5年8月8日</td></tr> <tr> <td>会 場</td><td>県民交流プラザ和歌山ビッグ愛</td></tr> <tr> <td>参加者</td><td>2名</td></tr> <tr> <td>内 容</td><td>社会福祉法人会計がもつ役割や目的を知り、社会福祉法人特有の各勘定科目の内容、仕訳と転記、決算処理まで、社会福祉法人会計の仕組みについて理解する</td></tr> <tr> <td>主 催</td><td>和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）</td></tr> </table>	開催日	令和6年2月5日	会 場	海南保健福祉センター	講 師	阪南市社協 事務局次長 猪俣健一 氏	参加者	16名	内 容	阪南市社協で実践されている社協内のコミュニティワーク等を学ぶとともに、自社協の組織づくりの心構えや取り組みについて考える	実施日	令和5年5月17日	会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	参加者	2名	内 容	課題解決のための効果的な会議の進め方や多職種連携に必要な知識やスキルの習得	主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）	実施日	①令和5年8月3日、②令和5年8月8日	会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	参加者	2名	内 容	社会福祉法人会計がもつ役割や目的を知り、社会福祉法人特有の各勘定科目の内容、仕訳と転記、決算処理まで、社会福祉法人会計の仕組みについて理解する	主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）
開催日	令和6年2月5日																														
会 場	海南保健福祉センター																														
講 師	阪南市社協 事務局次長 猪俣健一 氏																														
参加者	16名																														
内 容	阪南市社協で実践されている社協内のコミュニティワーク等を学ぶとともに、自社協の組織づくりの心構えや取り組みについて考える																														
実施日	令和5年5月17日																														
会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛																														
参加者	2名																														
内 容	課題解決のための効果的な会議の進め方や多職種連携に必要な知識やスキルの習得																														
主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）																														
実施日	①令和5年8月3日、②令和5年8月8日																														
会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛																														
参加者	2名																														
内 容	社会福祉法人会計がもつ役割や目的を知り、社会福祉法人特有の各勘定科目の内容、仕訳と転記、決算処理まで、社会福祉法人会計の仕組みについて理解する																														
主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）																														

◇新任職員研修会

実施日	令和5年9月12日
会 場	和歌山県立白崎青少年の家
参加者	1名
内 容	社協の理念や役割、特性など基礎的な事項を学び、県内の社協職員の仲間づくりを行い、地域の人々と共に地域福祉活動を展開する職員になる
主 催	和歌山県社会福祉協議会

◇福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】

実施日	令和5年11月8日～9日
会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
参加者	1名
内 容	福祉施設等に勤務する中堅職員として、役割を遂行するための基本を学ぶ
主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）

◇福祉レクリエーション研修

実施日	令和5年12月12日
会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
参加者	1名
内 容	職場内におけるレクリエーションの知識及び技能や利用者にもたらす効果等を理解し、一人ひとりに合ったレクリエーションを提供する方法や活用を学ぶ
主 催	和歌山県社会福祉協議会（福祉人材センター）

◇令和5年度市町村社協役職員研修会・県地域福祉推進フォーラム

実施日	令和6年2月19日
会 場	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
参加者	3名
内 容	社協の災害支援活動のあり方を確認するとともに、災害や危機にも強い地域共生社会の実現をめざして、それぞれの立場で平時からどのように力を出し合い、防災と地域福祉を進めていくか考える
主 催	和歌山県社会福祉協議会

●社会福祉協議会会員の募集

自治会や民生委員児童委員協議会、企業、団体等の協力を得て、社会福祉協議会会費を納入していただきました。

前年度に社協会費を活用して取り組んだ地域福祉活動事業の写真を掲載したチラシを作成し、自治会連絡協議会や自治会などに社協会費の趣旨や使途を説明しました。

	振込みによる納入の手順を自治会に配布するとともに、ホームページに納入のお願いを掲載して加入促進を図りました。 未納の自治会には電話連絡をするなど納入をお願いしました。 特別会員の増加に向け、新たな企業・団体に特別会費の納入をお願いしました。 ◇社協会費の内訳実績 <table> <tr> <th>区 分</th><th>金 額</th></tr> <tr> <td>一般会費（一口当たり 400 円）</td><td>4, 7 9 9, 1 6 6 円</td></tr> <tr> <td>賛助会費（一口当たり 1,000 円）</td><td>2 1 8, 0 0 0 円</td></tr> <tr> <td>特別会費（一口当たり 5,000 円）</td><td>1 7 0, 0 0 0 円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>5, 1 8 7, 1 6 6 円</td></tr> </table> <table> <tr> <th>予算額</th><th>達成率</th></tr> <tr> <td>5, 7 5 0, 0 0 0 円</td><td>9 0. 2 %</td></tr> </table> ●地域福祉活動の財源確保 6 月豪雨災害により開設した海南市災害ボランティアセンター運営に係る費用について、和歌山県共同募金会の災害支援制度による活動拠点事務所支援資金（1, 5 6 3, 1 6 6 円）を活用しました。	区 分	金 額	一般会費（一口当たり 400 円）	4, 7 9 9, 1 6 6 円	賛助会費（一口当たり 1,000 円）	2 1 8, 0 0 0 円	特別会費（一口当たり 5,000 円）	1 7 0, 0 0 0 円	合 計	5, 1 8 7, 1 6 6 円	予算額	達成率	5, 7 5 0, 0 0 0 円	9 0. 2 %
区 分	金 額														
一般会費（一口当たり 400 円）	4, 7 9 9, 1 6 6 円														
賛助会費（一口当たり 1,000 円）	2 1 8, 0 0 0 円														
特別会費（一口当たり 5,000 円）	1 7 0, 0 0 0 円														
合 計	5, 1 8 7, 1 6 6 円														
予算額	達成率														
5, 7 5 0, 0 0 0 円	9 0. 2 %														
地域福祉 活動計画	基本目標 1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：職員の福祉意識の醸成、社会福祉協議会の新規会員募集、民間財源等の活用の検討														

<主な様子>

職員研修会



<参考資料>

年 度	一般会費	賛助会費	特別会費	合 計	予算額	達成率
令和 4 年度	4,894,223 円	246,000 円	155,000 円	5,295,223 円	5,750,000 円	92.1%
令和 3 年度	5,139,458 円	280,000 円	160,000 円	5,579,458 円	5,750,000 円	97.0%

I. 法人運営事業	3 法人運営事業③
事業費総額	—
財 源	—
事業概要	・災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう災害発災直後の初動行動マニュアルを作成するとともに、事業の優先順位等を決定し、災害時に重要な事業の継続や早期復旧のための対策を速やかに検討できるよう事業継続計画を策定します。 ・災害発生時に迅速かつ的確に被災者の支援活動ができるよう災害時応援協定を締結します。
実施内容・実績	●6月豪雨災害時には、海南市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、職員が迅速かつ的確に行動し、被災状況の把握に努めるとともに、SNSを活用して職員間で情報共有を図りました。 ●事業継続計画（BCP）の策定には至らなかったが、6月豪雨災害時には休止できる業務は休止し、休止できない業務は災害ボランティアセンター運営と並行して実施するなど事業ごとに優先順位をつけて業務を行いました。 ●大規模災害発生時における支援活動や災害ボランティアセンターにおける支援活動に対して、円滑な協力体制を築くことを目的に、災害時の応援協定を締結しました。 令和5年11月15日 海南東ロータリークラブ
地域福祉活動計画	基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：災害時行動計画の策定、事業継続計画（BCP）の策定、災害時応援協定の締結

<主な様子>

海南東ロータリークラブとの協定



I. 法人運営事業	4 法人運営事業④
事業費総額	—
財 源	—
事業概要	・寄附者からの指定（交通遺児のために）により預かった寄附金を指定先に配分します。
実施内容・実績	●令和5年度の指定寄附金はありませんでしたが、前年度からの繰越金として290,000円を預かっています。 ※1名当たりの配分金の上限額を30,000円とし、指定寄附金より配分金を上回った場合に充当するため繰り越しています。 ●中学生以下を対象に交通遺児に関する調査を行ったところ、該当者はありませんでした。
地域福祉活動計画	計画外

Ⅱ．地域福祉事業	1 福祉団体への活動助成																				
事業費総額	407,197円																				
財 源	共募配分金																				
事業概要	・社会福祉関係団体が行う社会福祉活動に対し、助成金を交付することにより、当該団体を育成・支援するとともに、地域の社会福祉活動の活性化を図ります。																				
実施内容・実績	令和5年度社会福祉関係団体助成金を下記の8団体へ交付しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>団 体 名</th><th>交 付 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海南市老人クラブ連合会</td><td>90,000円</td></tr> <tr> <td>海南市身体障害者連盟</td><td>92,577円</td></tr> <tr> <td>海南市障害児者父母の会</td><td>80,000円</td></tr> <tr> <td>海南たんぽぽの会</td><td>30,000円</td></tr> <tr> <td>手話サークル「青空」</td><td>30,000円</td></tr> <tr> <td>紀の国断酒会友綱</td><td>10,000円</td></tr> <tr> <td>海南市更生保護女性会</td><td>40,000円</td></tr> <tr> <td>紀西保護司会海南分会</td><td>30,000円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>402,577円</td></tr> </tbody> </table>	団 体 名	交 付 額	海南市老人クラブ連合会	90,000円	海南市身体障害者連盟	92,577円	海南市障害児者父母の会	80,000円	海南たんぽぽの会	30,000円	手話サークル「青空」	30,000円	紀の国断酒会友綱	10,000円	海南市更生保護女性会	40,000円	紀西保護司会海南分会	30,000円	合 計	402,577円
団 体 名	交 付 額																				
海南市老人クラブ連合会	90,000円																				
海南市身体障害者連盟	92,577円																				
海南市障害児者父母の会	80,000円																				
海南たんぽぽの会	30,000円																				
手話サークル「青空」	30,000円																				
紀の国断酒会友綱	10,000円																				
海南市更生保護女性会	40,000円																				
紀西保護司会海南分会	30,000円																				
合 計	402,577円																				
地域福祉活動計画	計画外																				

<参考資料>

年 度	交付団体数	交付総額
令和4年度	8団体	506,590円
令和3年度	8団体	470,000円

Ⅱ．地域福祉事業	2 民生委員児童委員等関係事業										
事業費総額	119,799円										
財 源	共募配分金										
事業概要	・民生委員児童委員協議会活動を支援し助成を行うとともに、民生委員・児童委員等の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図ることを目的として、全国民生委員互助共励事業に係る事務を行います。										
実施内容・実績	●民生委員児童委員協議会活動を支援するため助成を行いました。 ●民生委員互助共励事業の給付内容は以下のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>件 数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 傷 病</td><td>7 件</td></tr> <tr> <td>災 害 見 舞</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>退 任 慰 労</td><td>1 件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>11 件</td></tr> </tbody> </table>	種 別	件 数	一 般 傷 病	7 件	災 害 見 舞	3 件	退 任 慰 労	1 件	計	11 件
種 別	件 数										
一 般 傷 病	7 件										
災 害 見 舞	3 件										
退 任 慰 労	1 件										
計	11 件										
地域福祉活動計画	計画外										

<参考資料>

年 度	種 別	件 数	計
令和4年度	一 般 傷 病	8 件	11 件
	一 般 死 亡	2 件	
	配偶者死亡	1 件	
令和3年度	一 般 傷 病	4 件	7 件
	公 務 傷 害	1 件	
	一 般 死 亡	1 件	
	配偶者死亡	1 件	

Ⅱ．地域福祉事業	3 用具等貸与事業											
事業費総額	1 0 0， 5 7 0 円											
財 源	共募配分金、その他（利用料）											
事業概要	・高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の車いす体験及び防災研修会等の開催を支援するため、車いすを貸し出します。 ・チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害を防止するため、チャイルドシート等を貸し出します。 ・住民の交流及び健康増進を図るため、グラウンド・ゴルフ用具を貸し出します。											
実施内容・実績	ア 車いすの貸出し											
	<table><tr><td>貸出先</td><td>貸出件数</td><td>貸出台数</td></tr><tr><td>個 人</td><td>3 1 件</td><td>3 1 台</td></tr><tr><td>団 体</td><td>6 件</td><td>8 台</td></tr></table>			貸出先	貸出件数	貸出台数	個 人	3 1 件	3 1 台	団 体	6 件	8 台
	貸出先	貸出件数	貸出台数									
	個 人	3 1 件	3 1 台									
	団 体	6 件	8 台									
	イ チャイルドシート等の貸出し											
	<table><tr><td>品 名</td><td>貸出件数</td><td>貸出台数</td></tr><tr><td>チャイルドシート</td><td>7 件</td><td>8 件</td></tr><tr><td>ジュニアシート</td><td>3 件</td><td>3 件</td></tr></table>			品 名	貸出件数	貸出台数	チャイルドシート	7 件	8 件	ジュニアシート	3 件	3 件
品 名	貸出件数	貸出台数										
チャイルドシート	7 件	8 件										
ジュニアシート	3 件	3 件										
ウ グラウンド・ゴルフ用具の貸出し												
<table><tr><td>品 名</td><td>貸出件数</td></tr><tr><td>グラウンド・ゴルフ用具</td><td>6 件</td></tr></table>			品 名	貸出件数	グラウンド・ゴルフ用具	6 件						
品 名	貸出件数											
グラウンド・ゴルフ用具	6 件											
地域福祉活動計画	計画外											

<参考資料>

年 度	車いす	チャイルドシート	ジュニアシート	グラウンド・ゴルフ用具
令和4年度	34件	10件	3件	7件
令和3年度	19件	6件	0件	5件

Ⅱ. 地域福祉事業	4 広報事業
事業費総額	2, 342, 445 円
財 源	共募配分金、社協会費
事業概要	・社会福祉協議会の事業や活動について、住民の方々に幅広く知っていただくため、広報紙の毎月発行とホームページを随時更新するとともに、地域や企業、学生などそれぞれの目線で分かりやすいよう地域福祉に関する取り組みなどの情報発信を行います。 ・広報に関する研修への参加に加え、他社協を含め、幅広く行政などの広報紙から見せ方等を研究するなど広報ノウハウや職員の広報意識の向上を図ります。
実施内容・実績	●広報紙の発行 毎月発行する広報紙「福祉かいなん」を幅広い世代に手に取ってもらえるよう、親しみやすいタイトルの定例記事を掲載するなど紙面構成を工夫し、自治会のご尽力をいただき、市内各戸に配布しました。また、市内のオークワ2店舗に加え、松源3店舗でも配架を開始しました。 ●ホームページの運営 社協の取り組みや地域活動の状況等を投稿したほか、各種募集案内などの情報発信を行いました。また、6月豪雨災害時には災害ボランティアセンターの活動状況等の情報発信や災害ボランティアの募集を行いました。 (ホームページ訪問者数 25, 377名) ●SNSを活用した情報発信 情報拡散性のある Facebook を活用し、ホームページと連動して社協の取り組みや地域活動の状況等の情報発信を行いました。 ●高校での情報発信 海南高校において、社協の取り組みや地域活動の状況等の情報発信を行いました。 ●団体・社会福祉法人等への情報発信 ながみね農業協同組合、海南商工会議所女性部などの団体や市内の社会福祉法人等を訪問し、社協の取り組みや社会貢献活動について情報交換しました。 ●リーフレットの配布 学校及び団体・社会福祉法人等への訪問時や福祉教育事業、夏のボランティア体験月間事業などの実施時に、社協の取り組み等をまとめたリーフレットを配布しました。 ●研修会への参加 広報意識の向上と専門的なノウハウを身につけるため、より伝わりやすい広報紙面の作成方法やSNSの活用方法、写真の撮り方などを学ぶ広報研修会に参加し、その内容を職員間で共有しました。

地域福祉 活動計画	基本目標 1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：広報事業、社会福祉協議会の取り組みの見える化、職員の広報意識の向上と広報ノウハウの取得
--------------	---

<参考資料>

年 度	ホームページ訪問者数
令和4年度	9, 4 9 3名
令和3年度	9, 2 2 4名

Ⅱ．地域福祉事業	5 ボランティア育成事業		
事業費総額	54,303円		
財 源	共募配分金		
事業概要	・小学生及び中学生のボランティア活動へのきっかけづくりとして、様々なボランティア活動を体験する夏のボランティア体験月間事業を実施します。		
実施内容・実績	ボランティア活動へのきっかけづくりとして、小学生・中学生が、夏休み期間を利用し、様々なボランティア活動を体験することを目的に、夏のボランティア体験月間事業を実施しました。		
	期 間：令和5年7月21日～8月17日		
	対 象：市内在住または在学の小学生及び中学生		
	参加者：延べ108名（小学生51名、中学生57名）		
	プログラム名	場 所	参加人数
	地域清掃ボランティア	専稱寺	8名
		宮橋グラウンドゴルフ場	10名
		下津保健福祉センター周辺の道路	20名
	デイサービスボランティア	ひだまり	2名
		かぐのみ苑	3名
		下津保健福祉センター	3名
	お宅訪問ボランティア	日方地区	4名
		北野上地区	6名
		大東地区	6名
	サロンボランティア	阪東いきいきサロン	4名
		サニー井田サロン	5名
サロンすみれ		5名	
折り紙ボランティア	海南保健福祉センター	10名	
図書ボランティア	海南 nobinos	10名	
夏まつりボランティア	きうちこども食堂	8名	
	かぐのみ苑	4名	
地域福祉活動計画	計画外		

<主な様子>

お宅訪問ボランティア（日方地区）



サロンボランティア（阪東いきいきサロン）



<参考資料>

年 度	実施プログラム数	延べ参加者数
令和4年度	6	40名（小学生18名・中学生22名）
令和3年度	7	74名（小学生45名・中学生29名）

Ⅱ. 地域福祉事業	6 災害ボランティア運営事業
事業費総額	10,866,439円
財 源	共募配分金、社協会費、市受託金、寄附金
事業概要	・災害ボランティア活動が迅速かつ円滑に実施できるよう、海南市や関係団体等と連携した災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施するとともに、災害ボランティア活動の基盤強化に努めます。 ・災害ボランティアの事前登録を呼びかけるとともに、登録者に対して防災士資格取得費用助成制度の活用を促します。 ・職員の防災対応能力の向上を図るため、研修会への参加や訓練等を実施します。 ・被災地より要請があれば支援活動を行います。
実施内容・実績	●海南市災害ボランティアセンター設置運営 令和5年6月2日に発生した豪雨により被災された方の生活復旧を支援するため、海南市との協定に基づき、翌3日に災害ボランティアセンターを開設し、県内外からボランティアを受け入れ、被災者支援を行いました。 被害状況：住家1,418軒 〔内訳〕全壊1軒、床上浸水457軒、床下浸水960軒 活動期間：6月4日～7月31日 要 請 数：367件 支 援 数：601件（延べ） ボランティア数：1,870名（延べ） 〔内訳〕一般ボランティア：1,641名（延べ） 専門ボランティア：229名（延べ） ●海南市災害ボランティアセンター寄附金品 海南市災害ボランティアセンターの運営にあたり、多くの寄附金品をいただきました。 （現金） 17件 1,002,070円 （物品） 51件 資機材、飲食料など ●海南市災害ボランティアセンター運営報告 災害ボランティアセンター運営の経験を各所で報告するとともに、ホームページに活動報告を掲載しました。 活動報告先は次のとおりです。

期 日	対 象
令和 5 年 7 月 1 4 日	滋賀県内社会福祉協議会職員など
令和 5 年 8 月 2 0 日～2 2 日	愛媛県内社会福祉協議会職員
令和 5 年 1 0 月 1 3 日	県内地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長など
令和 5 年 1 0 月 3 0 日	田辺市ボランティア連絡協議会会員
令和 5 年 1 1 月 9 日	和歌山大学生
令和 5 年 1 1 月 1 5 日	中野上・南野上地区住民
令和 5 年 1 1 月 1 6 日	海南中学校 2 年生
令和 5 年 1 1 月 2 0 日	亀川小学校 5 年生
令和 5 年 1 2 月 6 日	北野上地区住民
令和 5 年 1 2 月 9 日	6 月豪雨災害ボランティア活動者・災害ボランティア登録者
令和 6 年 1 月 9 日	下津第二中学校全校生徒
令和 6 年 1 月 2 7 日	海南市議会教育厚生委員
令和 6 年 2 月 1 9 日	県内社会福祉協議会職員など
令和 6 年 2 月 2 6 日	海南市ボランティア連絡協議会会員

●海南市防災訓練

令和 5 年 1 1 月 1 2 日、亀川中学校で開催された亀川地区を重点地区とした海南市防災訓練において、災害時における要配慮者への理解を深めることを目的に海南高校と連携した車いす体験を実施しました。

●防災学習

令和 5 年 1 1 月 2 0 日、亀川小学校で開催された防災学習において、大規模災害発生時に自分たちに何ができるのかを学ぶことを目的に、海南市危機管理課と連携し、アイマスク体験を実施しました。

●災害ボランティア交流・報告会

6 月豪雨災害で活動されたボランティアや災害ボランティア登録者を対象に、ボランティア同士の交流を目的とした交流・報告会を実施し、災害ボランティアセンター運営の報告やグループワークを通じて参加者同士の交流を図りました。（参加者 1 0 名）

●災害ボランティア登録

広報紙やホームページで周知を図るとともに、6 月豪雨災害で活動された災害ボランティアに登録を呼びかけ、新たに 1 4 名が登録されました。
(登録者 5 0 名)

	●防災士資格取得費用助成制度 災害ボランティア登録者のうち防災士資格を取得した3名に対し、資格取得費用を助成しました。 ●検討会への参加 県社会福祉協議会主催の災害時の社協活動検討会に参加し、県内の防災活動者らと顔の見える関係づくりや災害ボランティアに関する知識を深めるとともに、災害時にも生かせるつながりづくりに努めました。
地域福祉活動計画	基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：防災対応能力向上のための職員研修及び訓練の実施、災害ボランティア登録制度の充実、災害ボランティア研修及び活動訓練の実施、防災士資格取得補助制度の創設、災害ボランティアセンター設置運営事業、災害ボランティア活動の基盤強化

<主な様子>

災害ボランティア活動



災害ボランティア交流・報告会



<参考資料>

年 度	災害ボランティア登録者数
令和4年度	36名
令和3年度	30名

Ⅱ．地域福祉事業	7 善意銀行運営事業																		
事業費総額	1, 3 1 7, 2 7 9 円																		
財 源	善意銀行預託金																		
事業概要	・住民福祉の増進に寄与することを目的に、市民や企業・団体等から善意の金品の預託を受けるとともに、預託された善意の預託金を善意銀行運営委員会の審議を経て、必要としている団体等に払い出します。 ・災害で被災された方に災害見舞金の支給や生活困窮者等への緊急かつ一時的な援助を行います。																		
実施内容・実績	●預託金品 (任意預託金) 2 1 件 1 6 7, 1 4 4 円 (指定預託金) 2 1 件 3 8 8, 0 0 0 円 (こども食堂に) (指定預託品) 1 4 件 米、食料品 (こども食堂に) 車いす (介護老人福祉施設緑風苑に)																		
	●払出し																		
	<table><tr><th>団 体 名</th><th>内 容</th><th>払出金額</th></tr><tr><td>社会福祉法人あおい会 障害者支援施設太陽の丘</td><td>ロビーチェア</td><td>132,550 円</td></tr><tr><td>社会福祉法人一峰会 おかし工房桜和</td><td>バッグシーラー</td><td>300,000 円</td></tr><tr><td>社会福祉法人和歌山県福祉事業団 特別養護老人ホーム南風園</td><td>7 5 インチテレビ</td><td>243,810 円</td></tr><tr><td>アンサンブル琴和会</td><td>大正琴及び軽量ケース</td><td>66,800 円</td></tr><tr><td>楽しいは美味しい友の会</td><td>アウトドアテーブル ポータブル電源 ソーラーパネル L E D 投光器</td><td>149,769 円</td></tr></table>	団 体 名	内 容	払出金額	社会福祉法人あおい会 障害者支援施設太陽の丘	ロビーチェア	132,550 円	社会福祉法人一峰会 おかし工房桜和	バッグシーラー	300,000 円	社会福祉法人和歌山県福祉事業団 特別養護老人ホーム南風園	7 5 インチテレビ	243,810 円	アンサンブル琴和会	大正琴及び軽量ケース	66,800 円	楽しいは美味しい友の会	アウトドアテーブル ポータブル電源 ソーラーパネル L E D 投光器	149,769 円
	団 体 名	内 容	払出金額																
	社会福祉法人あおい会 障害者支援施設太陽の丘	ロビーチェア	132,550 円																
	社会福祉法人一峰会 おかし工房桜和	バッグシーラー	300,000 円																
	社会福祉法人和歌山県福祉事業団 特別養護老人ホーム南風園	7 5 インチテレビ	243,810 円																
	アンサンブル琴和会	大正琴及び軽量ケース	66,800 円																
	楽しいは美味しい友の会	アウトドアテーブル ポータブル電源 ソーラーパネル L E D 投光器	149,769 円																
	(任意預託金) 5 件 8 9 2, 9 2 9 円																		
(指定預託金) 2 1 件 3 8 8, 0 0 0 円 2 か所のこども食堂に届けました。																			
(指定預託品) 1 4 件 米、食料品 3 か所のこども食堂に届けました。																			
車いす 介護老人福祉施設緑風苑に届けました。																			
●生活困窮世帯に食料品等を渡すため、3 6, 3 5 0 円を支出しました。																			
地域福祉活動計画	基本目標 1 : 助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名: 善意銀行																		

<参考資料>

年 度	任意預託金		任意預託金払出し	
	件 数	金 額	件 数	金 額
令和4年度	21件	321,250円	4件	799,336円
令和3年度	16件	131,758円	5件	1,302,579円

○社会福祉法人一峰会
おかし工房桜和



バッグシーラー

○楽しいは美味しい友の会



アウトドアテーブル

Ⅱ．地域福祉事業	8 心配ごと相談事業											
事業費総額	194,793円											
財 源	社協会費											
事業概要	・市民の身近な相談窓口としての心配ごと相談所を開設し、日常生活上の相談や行政相談も含め個人の心配ごとなどに対する助言や援助を行って解決に努めるとともに、他の機関において解決するのが適切な相談については斡旋による解決に努め、住民福祉の増進を図ります。 ・海南市報や社協広報紙、ホームページに掲載するなど周知及び啓発に努めます。											
実施内容・実績	●相談所運営状況 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">相談日時・場所</td><td>毎週金曜（祝日等を除く）13：00～16：00 海南保健福祉センター</td></tr> <tr> <td>毎月10日、25日13：00～16：00 （土曜、日曜、祝日の場合は翌平日） 下津保健福祉センター</td></tr> <tr> <td>相談員</td><td>民生委員15名・行政相談委員3名</td></tr> <tr> <td>開設日数</td><td>66日</td></tr> <tr> <td>相談利用者数</td><td>延べ58名（男26名・女32名）</td></tr> <tr> <td>相談総時間数</td><td>30時間40分</td></tr> </table> ・心配ごと相談所の周知を図るため、市報や広報紙、ホームページに掲載するなど啓発に努めました。	相談日時・場所	毎週金曜（祝日等を除く）13：00～16：00 海南保健福祉センター	毎月10日、25日13：00～16：00 （土曜、日曜、祝日の場合は翌平日） 下津保健福祉センター	相談員	民生委員15名・行政相談委員3名	開設日数	66日	相談利用者数	延べ58名（男26名・女32名）	相談総時間数	30時間40分
相談日時・場所	毎週金曜（祝日等を除く）13：00～16：00 海南保健福祉センター											
	毎月10日、25日13：00～16：00 （土曜、日曜、祝日の場合は翌平日） 下津保健福祉センター											
相談員	民生委員15名・行政相談委員3名											
開設日数	66日											
相談利用者数	延べ58名（男26名・女32名）											
相談総時間数	30時間40分											
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：心配ごと相談事業											

<参考資料>

相談内容	1 生計	2 年金	3 職業・生業	4 住宅	5 家族	6 結婚	7 離婚	8 健康・保健・衛生	9 医療	10 人権・法律	11 財産	12 事故	13 児童福祉・母子保健	14 教育・青少年	15 障害者児福祉	16 母子福祉・父子福祉	17 高齢者福祉	18 苦情	19 その他	合 計
取扱件数	4	0	0	5	8	0	1	1	0	3	10	0	0	0	0	0	6	8	17	63

年 度	開設日数	相談利用者数
令和4年度	68日	延べ49名
令和3年度	61日	延べ64名

Ⅱ. 地域福祉事業	9 福祉教育事業																																							
事業費総額	2 3 6 , 5 3 9 円																																							
財 源	社協会費																																							
事業概要	・まちに住む様々な人が、普段の生活課題や福祉課題に気づき、ノーマライゼーションの考えに基づき行動できる福祉の心を育むことを目的に、学校や地域等と連携した福祉教育事業を実施します。 ・学校や地域が主体となって継続的に取り組むことができるようプログラムの見直しを行うとともに、新しいプログラムの作成に取り組みます。																																							
実施内容・実績	●学校における福祉教育 福祉について考え、また相手の立場になって今の自分たちにできることを考えるきっかけとなるよう、申請のあった小学校及び中学校で福祉教育に取り組みました。																																							
	<table><tr><td></td><td>学校名</td><td>内 容</td></tr><tr><td rowspan="10">小 学 校</td><td>日方</td><td>手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）</td></tr><tr><td>内海</td><td>アイマスク体験、手話体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）</td></tr><tr><td>大野</td><td>点字体験、手話体験</td></tr><tr><td>亀川</td><td>アイマスク体験、車いす体験、むかしの暮らし（地域との交流）</td></tr><tr><td>巽</td><td>点字体験、車いす体験</td></tr><tr><td>北野上</td><td>手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>中野上</td><td>高齢者疑似体験、車いす体験</td></tr><tr><td>南野上</td><td>高齢者疑似体験、車いす体験</td></tr><tr><td>大東</td><td>点字体験、手話体験、アイマスク体験、親子車いす体験</td></tr><tr><td>加茂川</td><td>手話体験、親子車いす体験</td></tr><tr><td rowspan="7">中 学 校</td><td>海南</td><td>バリアフリーとユニバーサルデザイン、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習</td></tr><tr><td>第三</td><td>アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験</td></tr><tr><td>亀川</td><td>アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験</td></tr><tr><td>巽</td><td>高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験</td></tr><tr><td>東海南</td><td>車いす体験、車いすバスケットボール体験</td></tr><tr><td>下津第一</td><td>アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習</td></tr><tr><td>下津第二</td><td>車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験（様々な人の立場になって考える）、福祉防災学習</td></tr></table> 学校が主体となって実施できるよう、希望する内容の相談や講師との調整等を行いました。		学校名	内 容	小 学 校	日方	手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）	内海	アイマスク体験、手話体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）	大野	点字体験、手話体験	亀川	アイマスク体験、車いす体験、むかしの暮らし（地域との交流）	巽	点字体験、車いす体験	北野上	手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験	中野上	高齢者疑似体験、車いす体験	南野上	高齢者疑似体験、車いす体験	大東	点字体験、手話体験、アイマスク体験、親子車いす体験	加茂川	手話体験、親子車いす体験	中 学 校	海南	バリアフリーとユニバーサルデザイン、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習	第三	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験	亀川	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験	巽	高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験	東海南	車いす体験、車いすバスケットボール体験	下津第一	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習	下津第二	車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験（様々な人の立場になって考える）、福祉防災学習
		学校名	内 容																																					
	小 学 校	日方	手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）																																					
		内海	アイマスク体験、手話体験、高齢者疑似体験、地域を知ろう（地域との交流）																																					
		大野	点字体験、手話体験																																					
		亀川	アイマスク体験、車いす体験、むかしの暮らし（地域との交流）																																					
		巽	点字体験、車いす体験																																					
		北野上	手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験																																					
		中野上	高齢者疑似体験、車いす体験																																					
		南野上	高齢者疑似体験、車いす体験																																					
		大東	点字体験、手話体験、アイマスク体験、親子車いす体験																																					
		加茂川	手話体験、親子車いす体験																																					
	中 学 校	海南	バリアフリーとユニバーサルデザイン、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習																																					
		第三	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験																																					
		亀川	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験																																					
		巽	高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験																																					
		東海南	車いす体験、車いすバスケットボール体験																																					
		下津第一	アイマスク体験、車いす体験、車いすバスケットボール体験、福祉防災学習																																					
		下津第二	車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験（様々な人の立場になって考える）、福祉防災学習																																					

	●新しいプログラムづくり 海南中学校の2年生と下津第一中学校の3年生、下津第二中学校の全校生徒を対象に、平時・発災時・避難所生活について学んだり、6月豪雨災害の市内の被害状況や災害ボランティアセンターの運営経験などを伝え、今の自分たちにできることを考える福祉防災学習を実施しました。 第三中学校の2年生と下津第二中学校の2年生を対象に、老若男女が楽しめるスポーツを通じて、多様性を認め合い様々な人の立場に立って考えるため、ボッチャ体験を実施しました。
地域福祉 活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：福祉教育の推進、新しい福祉教育のプログラムづくり

<主な様子>

福祉防災学習（海南中学校）



ボッチャ体験（下津第二中学校）



Ⅱ．地域福祉事業	1 0 ボランティアセンター活動事業、ボランティア活動支援事業																				
事業費総額	4, 6 9 4, 5 3 3 円																				
財 源	市補助金、共募配分金、社協会費、その他（利用料等）																				
事業概要	・社会福祉協議会に登録されているボランティアへの活動助成金の交付、保険料の助成、給食・配食ボランティアへの食材費助成などにより、ボランティア活動を支援します。 ・ボランティア募集情報等をホームページへ掲載するほか、ボランティア活動に関する地域ニーズの把握や発掘を進め、マッチング機能の強化を図ります。 ・企業や団体等のボランティア活動が地域の社会貢献につながるよう、地域ニーズに基づいた具体的なボランティアプログラムを提示します。 ・ボランティア養成講座等を開催するとともに、ボランティア登録者増を図るほか、ボランティア連絡協議会と連携した事業を実施します。																				
実施内容・実績	●ボランティア活動の支援及び育成 1. ボランティアへの活動費等の支援 地域福祉の向上とボランティア活動の拡充及び促進を図るため、申請のあったボランティアグループ15団体、個人ボランティア3名にボランティア活動支援事業助成金を交付しました。 （交付額298, 245円） 食事サービスを提供するボランティアグループに対して、材料費等の支援を行いました。 <table><tr><td>グループ名</td><td>活動延べ人数</td><td>配食総数</td><td>実施回数</td></tr><tr><td>給食ボランティアわかば会</td><td>231名</td><td>892食</td><td>9回</td></tr><tr><td>大野地区配食ボランティア</td><td>51名</td><td>215食</td><td>9回</td></tr></table> 2. ボランティア活動保険への加入促進 ボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして、ボランティア活動保険への加入に努めるとともに、社会福祉協議会に登録されたボランティアでボランティア活動保険の基本プランに加入された545名の保険料の一部を負担しました。 ●ボランティアの相談、登録及び斡旋 前年度に比べ登録グループ数は5グループ、実登録者数は20名それぞれ増加しました。 <table><tr><td>1. 相談件数</td><td>37件</td></tr><tr><td>2. 登録グループ数</td><td>40グループ</td></tr><tr><td>3. 実登録者数</td><td>634名</td></tr><tr><td>うち新規登録</td><td>71名</td></tr></table>	グループ名	活動延べ人数	配食総数	実施回数	給食ボランティアわかば会	231名	892食	9回	大野地区配食ボランティア	51名	215食	9回	1. 相談件数	37件	2. 登録グループ数	40グループ	3. 実登録者数	634名	うち新規登録	71名
グループ名	活動延べ人数	配食総数	実施回数																		
給食ボランティアわかば会	231名	892食	9回																		
大野地区配食ボランティア	51名	215食	9回																		
1. 相談件数	37件																				
2. 登録グループ数	40グループ																				
3. 実登録者数	634名																				
うち新規登録	71名																				

●ボランティア情報の提供

広報紙やホームページ等を通じてボランティアの募集状況やボランティアグループの活動紹介などの情報提供を行いました。また、市内のボランティア活動をパンフレットにまとめ、公民館や社会福祉法人、企業等を訪問し、広報啓発に努めました。

●ボランティアルームの開設

海南保健福祉センター3階において、ボランティア相互の情報共有や交流の場としてのボランティアルームを開設しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用回数	3	3	3	2	2	8	2	1	7	3	7	4	45
延人数	5	7	6	5	2	26	2	7	10	6	20	14	110

●こども食堂ボランティア養成講座の実施

地域福祉活動支援事業と連携して実施したこども食堂ボランティア養成講座を活用し、ボランティアグループ立ち上げやボランティア登録者増加を図りました。

日 程：令和5年11月26日

参加者：21名

内 容：県内のこども食堂の状況

講 師 和歌山県子ども未来課

市内のこども食堂の活動報告

報告者 ボランティアグループ 楽しいは美味しい友の会

ボランティアグループ にじいろ

意見交換会

●移動支援ボランティア運転者講習会

空き時間を利用して、買い物等外出に課題のある方々の支援を行う移動支援ボランティアを養成する運転者講習会を実施しました。

日 程：令和6年3月17日

参加者：10名

内 容：移動・送迎サービスについての講話

車いす及び介護体験、実習

福祉車両への乗降及び実技など

講 師 関西STS連絡会

●ボランティア連絡協議会との連携

- ・海南市ボランティア連絡協議会総会（通常・臨時）の開催（2回）
- ・海南市ボランティア連絡協議会理事会の開催（3回）
- ・炊き出し訓練

日 程：令和5年11月12日

参加者：20名

内 容：亀川地区防災訓練における炊き出し訓練

	●社会貢献的ボランティアプログラムづくり 企業や団体等に様々な分野のボランティア活動の情報を提供できるよう、地域のニーズや様々な団体の活動ニーズのヒアリングを行うとともに、ニーズに応じた社会貢献的ボランティアプログラムの作成に取り組みました。
地域福祉活動計画	基本目標 3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：ボランティアセンター活動事業、新しい社会貢献的ボランティアプログラムづくり

<主な様子>

給食ボランティア（内海地区）



こども食堂ボランティア養成講座



<参考資料>

年 度	相談件数	登録グループ数	実登録者数
令和4年度	25件	35グループ	614名
令和3年度	17件	41グループ	753名

Ⅱ．地域福祉事業	1 1 ふれあい・いきいきサロン支援事業																																																																						
事業費総額	9, 9 8 1, 2 9 0 円																																																																						
財 源	市補助金、社協会費																																																																						
事業概要	・地域住民の孤立感の解消、地域の見守り、健康づくりを目的として、身近な地域の人々が気軽に集まり、会話や体操などを楽しみながら仲間づくりができるよう支援を行います。 ・サロン運営者等への情報提供や相談ができる関係づくり及び設立や運営の推進を目的にサロン交流会を開催します。																																																																						
実施内容・実績	●市内 1 8 か所のサロンへの運営支援のほか、活動費や設立費用等を助成しました。(助成額 6 9 5, 0 0 0 円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 区</th><th>サロン名</th><th>主な活動場所</th><th>実施回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日 方</td><td>陽だまりサロン</td><td>日方東部児童会館</td><td>24 回</td></tr> <tr> <td>みんなのカフェ</td><td>海南駅前地区集会所</td><td>50 回</td></tr> <tr> <td>内 海</td><td>マダムサロン</td><td>内海東部地区集会所</td><td>23 回</td></tr> <tr> <td>冷 水</td><td>喜楽会</td><td>冷水集会所</td><td>10 回</td></tr> <tr> <td rowspan="2">大 野</td><td>サニー井田サロン</td><td>サニータウン内民家</td><td>11 回</td></tr> <tr> <td>小中サロン</td><td>内海東部地区集会所</td><td>23 回</td></tr> <tr> <td rowspan="2">亀 川</td><td>かめっこサロン</td><td>亀川公民館</td><td>6 回</td></tr> <tr> <td>PINCORO LIFE サロン</td><td>つつじヶ丘自治会館</td><td>12 回</td></tr> <tr> <td rowspan="3">巽</td><td>阪東いきいきサロン</td><td>重根西部地区集会所</td><td>9 回</td></tr> <tr> <td>サロンぼたん</td><td>下村地区集会所</td><td>10 回</td></tr> <tr> <td>宮橋いきいきサロン</td><td>宮橋地区集会所</td><td>10 回</td></tr> <tr> <td>中野上</td><td>サロンすみれ(新規)</td><td>中野上公民館</td><td>14 回</td></tr> <tr> <td rowspan="2">南野上</td><td>ひや水なかよしサロン</td><td>ひや水地区集会所</td><td>11 回</td></tr> <tr> <td>いきいきサロン九品寺</td><td>九品寺地区集会所</td><td>11 回</td></tr> <tr> <td rowspan="3">下 津</td><td>歌声サロン四季の会</td><td>光輪寺</td><td>4 回</td></tr> <tr> <td>新田いきいきサロン(再開)</td><td>新田児童館</td><td>11 回</td></tr> <tr> <td>サロン濱中(新規)</td><td>上公民館</td><td>11 回</td></tr> <tr> <td>大 東</td><td>加茂郷いきいきサロン(再開)</td><td>加茂郷公民館</td><td>5 回</td></tr> </tbody> </table>			地 区	サロン名	主な活動場所	実施回数	日 方	陽だまりサロン	日方東部児童会館	24 回	みんなのカフェ	海南駅前地区集会所	50 回	内 海	マダムサロン	内海東部地区集会所	23 回	冷 水	喜楽会	冷水集会所	10 回	大 野	サニー井田サロン	サニータウン内民家	11 回	小中サロン	内海東部地区集会所	23 回	亀 川	かめっこサロン	亀川公民館	6 回	PINCORO LIFE サロン	つつじヶ丘自治会館	12 回	巽	阪東いきいきサロン	重根西部地区集会所	9 回	サロンぼたん	下村地区集会所	10 回	宮橋いきいきサロン	宮橋地区集会所	10 回	中野上	サロンすみれ(新規)	中野上公民館	14 回	南野上	ひや水なかよしサロン	ひや水地区集会所	11 回	いきいきサロン九品寺	九品寺地区集会所	11 回	下 津	歌声サロン四季の会	光輪寺	4 回	新田いきいきサロン(再開)	新田児童館	11 回	サロン濱中(新規)	上公民館	11 回	大 東	加茂郷いきいきサロン(再開)	加茂郷公民館	5 回
地 区	サロン名	主な活動場所	実施回数																																																																				
日 方	陽だまりサロン	日方東部児童会館	24 回																																																																				
	みんなのカフェ	海南駅前地区集会所	50 回																																																																				
内 海	マダムサロン	内海東部地区集会所	23 回																																																																				
冷 水	喜楽会	冷水集会所	10 回																																																																				
大 野	サニー井田サロン	サニータウン内民家	11 回																																																																				
	小中サロン	内海東部地区集会所	23 回																																																																				
亀 川	かめっこサロン	亀川公民館	6 回																																																																				
	PINCORO LIFE サロン	つつじヶ丘自治会館	12 回																																																																				
巽	阪東いきいきサロン	重根西部地区集会所	9 回																																																																				
	サロンぼたん	下村地区集会所	10 回																																																																				
	宮橋いきいきサロン	宮橋地区集会所	10 回																																																																				
中野上	サロンすみれ(新規)	中野上公民館	14 回																																																																				
南野上	ひや水なかよしサロン	ひや水地区集会所	11 回																																																																				
	いきいきサロン九品寺	九品寺地区集会所	11 回																																																																				
下 津	歌声サロン四季の会	光輪寺	4 回																																																																				
	新田いきいきサロン(再開)	新田児童館	11 回																																																																				
	サロン濱中(新規)	上公民館	11 回																																																																				
大 東	加茂郷いきいきサロン(再開)	加茂郷公民館	5 回																																																																				

	●活動を休止されていた3か所のサロンに、再会に向けて継続した相談支援を行った結果、2か所が再開に至りました。 1か所のサロンについては、令和6年5月に再開予定 <table><tr><td>地 区</td><td>サロン名</td><td>主な活動場所</td></tr><tr><td>巽</td><td>たのしい会</td><td>大谷児童会館</td></tr></table> ●サロンを運営している方やこれから始めようと検討されている方を対象にサロン交流会を開催し、身近な地域にサロンがあることの大切さやサロンの運営方法等について話し合い、レクリエーション用具の体験を行うことで、運営者には新たな運営方法を、検討者には設立等の推進を図りました。（参加者26名：運営者20名・検討者6名） ●サロン設立の相談があった4か所に相談支援を行いました。 ・中野上地区、下津地区で令和5年4月に1か所ずつ立ち上げ ・亀川地区……令和6年5月に1か所立ち上げ予定 ・北野上地区…令和6年4月に1か所立ち上げ予定	地 区	サロン名	主な活動場所	巽	たのしい会	大谷児童会館
地 区	サロン名	主な活動場所					
巽	たのしい会	大谷児童会館					
地域福祉 活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：ふれあい・いきいきサロン支援事業						

<主な様子>

サロン濱中



サロン交流会



<参考資料>

年 度	サロン数	助成額
令和4年度	15か所	551,673円
令和3年度	10か所	259,691円

Ⅱ．地域福祉事業	1 2 地域福祉活動計画進行管理事業
事業費総額	1, 9 0 0 円
財 源	社協会費
事業概要	・市民、学識経験者や地域福祉関係者等で構成する地域福祉活動計画推進検討会において、行政と連携を図りながら、第2次地域福祉活動計画の進捗状況を検証します。
実施内容・実績	令和5年10月30日、海南市役所において令和5年度海南市地域福祉活動計画推進検討会を開催しました。 [内容] 1. 地域福祉活動計画の概要について 地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けて取り組んでいくことを確認しました。 2. 令和4年度の事業実績及び令和5年度の取組状況について 地域福祉活動計画に記載の事業の令和4年度の実績と令和5年度の取組状況を報告しました。 3. 重点事業について ①地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等） ・こども食堂の担い手となるボランティアの確保及び発掘の方法について質問があり、地域の各種団体や友だち等に呼びかけて仲間づくりをされたと回答しました。 ②福祉総合相談事業 ・6月豪雨災害で被災された地域を訪問中に孤立している高齢者夫婦を発見し、対話を繰り返すことで転居先や物の処分など生活設計を立て直す支援を行うとともに見守り支援を継続している事例について報告しました。 ③災害ボランティア活動の基盤強化 ・6月2日の豪雨災害により、6月3日から7月31日まで海南保健福祉センターを拠点とした災害ボランティアセンターを開設し、被災者支援を行ったことを報告しました。
地域福祉活動計画	計画外

Ⅱ. 地域福祉事業	1 3 福祉総合相談事業																						
事業費総額	—																						
財 源	—																						
事業概要	・行政や関係機関、NPO法人等との連携を図りながら、支援を必要とする方に必要な情報提供や福祉サービスの提供へ結び付けていくことができるよう相談支援体制の充実を図るとともに、総合相談に関する職員研修の実施や専門研修に参加し、コーディネーション力の向上を図ります。 ・福祉情報に触れることが少なく、情報が届かない方に対して、必要な情報が届くよう地域の福祉関係機関や専門職を通じて社会福祉協議会の相談窓口につながるよう周知するとともに、アウトリーチによりSOSを出すことができない方の把握に努めます。																						
実施内容・実績	●相談受付状況 <table border="1"> <tr> <td>相談件数</td><td>6 7 件</td></tr> </table> ●相談内容内訳 <table border="1"> <tr> <td>ボランティア関連</td><td>3 7 件</td></tr> <tr> <td>地域福祉関連（サロン・協議体・こども食堂）</td><td>1 1 件</td></tr> <tr> <td>生活困窮関連</td><td>2 件</td></tr> <tr> <td>募金、寄附金関連</td><td>4 件</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>1 3 件</td></tr> </table> ●他機関との連携 <table border="1"> <tr> <td>福祉・医療</td><td>1 件</td></tr> <tr> <td>行政</td><td>8 件</td></tr> <tr> <td>民生委員児童委員協議会</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>地域活動（ボランティア・協議体・こども食堂）</td><td>1 2 件</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>4 件</td></tr> </table> ○相談業務の知識向上、様々な場面での相談内容に対応するため、研修会に参加しました。 ○コロナ特例貸付で関わりを持った外国籍の乳児を抱えた世帯に対して、翻訳アプリを使いながら困りごとを聞きとり、地域のこども食堂に同行し、地域の子育て世代との交流の場や子育て支援情報を提供するとともに、子育て推進課と情報共有し、連携を図りました。	相談件数	6 7 件	ボランティア関連	3 7 件	地域福祉関連（サロン・協議体・こども食堂）	1 1 件	生活困窮関連	2 件	募金、寄附金関連	4 件	その他	1 3 件	福祉・医療	1 件	行政	8 件	民生委員児童委員協議会	3 件	地域活動（ボランティア・協議体・こども食堂）	1 2 件	その他	4 件
相談件数	6 7 件																						
ボランティア関連	3 7 件																						
地域福祉関連（サロン・協議体・こども食堂）	1 1 件																						
生活困窮関連	2 件																						
募金、寄附金関連	4 件																						
その他	1 3 件																						
福祉・医療	1 件																						
行政	8 件																						
民生委員児童委員協議会	3 件																						
地域活動（ボランティア・協議体・こども食堂）	1 2 件																						
その他	4 件																						

地域福祉 活動計画	基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：福祉総合相談事業、コーディネーション力の高い専門職の養成と配置、コーディネーション力の向上、情報が届かない方への情報発信の強化、専門職によるアウトリーチ
--------------	--

<参考資料>

年 度	相談件数
令和４年度	４４件
令和３年度	６２件

<参加した主な研修等>

R5.10/17・11/7	依存症関連研修（トラウマインフォームドケア・ギャンブル等依存症）
R5.10/19	保健福祉関連（ひきこもりや不登校の方への支援方法）
R5.11/16	精神保健福祉関連新任者研修（認知行動療法）
R5.12/7	福祉人材キャリア形成支援研修（社会福祉援助技術）
R5.12/14	福祉人材キャリア形成支援研修（面接技法とアセスメント力の向上）

Ⅱ. 地域福祉事業	1 4 生活困窮者自立相談支援事業
事業費総額	1 5, 1 7 3, 3 5 0 円
財 源	市受託金、善意銀行預託金
事業概要	・市の委託を受けて、生活困窮者自立支援法に基づき、既存の制度では十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立に向けた包括的かつ伴走型の支援を行います。 ・行政や社会福祉法人等の関係機関と連携し、相談者一人ひとりに合ったプランを作成します。 ・ひきこもりについては、支援機関や民生委員児童委員協議会等と情報共有し、実態把握に努めるほか、当事者等と意見交換を行うとともに、県内ひきこもり支援機関の視察を行います。 ・善意銀行預託金を活用し、生活困窮者等への緊急かつ一時的な援助物資を整備します。
実施内容・実績	●アウトリーチ支援の強化 車いすを借りたいと電話があった際に言動や様子が気になったので訪問し、生活実態を聞き取りした結果、生活困窮者であったため経済的な支援だけではなく、福祉・医療の支援も必要であることが分かり、いち早く高齢介護課や医療センターと連携し、生活保護にもつなぎました。 地域のサロンから近所の人を最近見かけない、家にも帰っていない様子、借金があったようで不安がっていたとの相談を受け、民生委員と連携を取り駅やスーパーなどの商業施設で見かけたとの情報をもとに、駅周辺を探索し無事に対象者を発見。生活状況を踏まえ社会福祉課と連携し救護施設につなぐなど、職員内での情報共有や連携とアウトリーチを意識した活動を行いました。 ●ひきこもり支援 先進的に居場所と就労支援を目指して活動している「ゲストハウスのぞみ」（紀美野町）へ視察に行き、実際の活動の様子を見学しました。

	●新規相談者数 (単位：名)													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	人数	8	12	24	14	5	8	7	11	14	5	10	13	131
	●年齢・性別 (単位：名)													
	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計			
	男	0	2	4	14	14	18	10	8	2	72			
	女	0	3	4	6	7	12	10	7	10	59			
	計	0	5	8	20	21	30	20	15	12	131			
	●継続支援者推移 (単位：名)													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	人数	14	15	16	24	19	20	23	26	36	45	45	47	
	●プラン作成件数 (単位：件)													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	件数	2	10	9	7	2	7	3	3	9	4	2	1	59
地域福祉活動計画	基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：生活困窮者自立支援事業、当事者サロンやグループ支援の推進													

<参考資料>

年 度	新規相談者数	次年度への継続支援者数	プラン作成件数
令和４年度	１２２名	１４名	６８件
令和３年度	１３４名	３２名	９２件

Ⅱ. 地域福祉事業	1 5 生活困窮者家計改善支援事業																																																																																																																												
事業費総額	3, 0 3 6, 0 0 0円																																																																																																																												
財 源	市受託金、社協運営基金																																																																																																																												
事業概要	・市の委託を受け、生活困窮者自立支援法に基づいた生活困窮者に対し、家計相談、家計再生プランの作成等、家計改善に向けた助言や提案などの支援を行います。 ・家計表を作成し、キャッシュフローや家計再生プランの作成などを行い、支援のなかで必要であれば生活福祉資金貸付のあっせんを行うほか、税滞納の分納相談や法テラスなどの相談窓口にも同行し支援を行います。																																																																																																																												
実施内容・実績	家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を「見える化」し、生活再生に向けた意欲を引き出すほか、家計再建の計画や家計に関する個別のプランを作成するなど、利用者自身の家計管理能力を高め、早期に生活が再生されるように支援しました。 ●利用者数 7名（うち新規利用者数7名） ●年齢・性別 (単位 名) <table><tr><td>年齢</td><td>10代</td><td>20代</td><td>30代</td><td>40代</td><td>50代</td><td>60代</td><td>70代</td><td>80代以上</td><td>合計</td></tr><tr><td>男</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>女</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>4</td></tr><tr><td>計</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>7</td></tr></table> ●相談延べ件数 (単位 件) <table><tr><td>項目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>合計</td></tr><tr><td>電話</td><td>15</td><td>25</td><td>49</td><td>26</td><td>22</td><td>39</td><td>21</td><td>18</td><td>24</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>258</td></tr><tr><td>来所</td><td>3</td><td>8</td><td>8</td><td>5</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>46</td></tr><tr><td>訪問</td><td>10</td><td>5</td><td>9</td><td>5</td><td>4</td><td>16</td><td>17</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>4</td><td>97</td></tr><tr><td>その他</td><td>11</td><td>8</td><td>15</td><td>5</td><td>9</td><td>37</td><td>52</td><td>33</td><td>28</td><td>29</td><td>28</td><td>31</td><td>286</td></tr><tr><td>計</td><td>39</td><td>46</td><td>81</td><td>41</td><td>39</td><td>92</td><td>94</td><td>63</td><td>60</td><td>46</td><td>44</td><td>42</td><td>687</td></tr></table> 主な相談内容 ・収入や生活費に関すること ・家賃や債務の支払いに関すること ・税金や公共料金等の支払いに関すること ※クレジットや電子決済など支払方法が多様化、複雑化してきたことにより、家計を把握できていない方も増えています。	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計	男	0	0	0	1	0	1	0	1	3	女	0	1	0	0	1	1	1	0	4	計	0	1	0	1	1	2	1	1	7	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	電話	15	25	49	26	22	39	21	18	24	7	7	5	258	来所	3	8	8	5	4	0	4	4	1	3	4	2	46	訪問	10	5	9	5	4	16	17	8	7	7	5	4	97	その他	11	8	15	5	9	37	52	33	28	29	28	31	286	計	39	46	81	41	39	92	94	63	60	46	44	42	687
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計																																																																																																																				
男	0	0	0	1	0	1	0	1	3																																																																																																																				
女	0	1	0	0	1	1	1	0	4																																																																																																																				
計	0	1	0	1	1	2	1	1	7																																																																																																																				
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																																																
電話	15	25	49	26	22	39	21	18	24	7	7	5	258																																																																																																																
来所	3	8	8	5	4	0	4	4	1	3	4	2	46																																																																																																																
訪問	10	5	9	5	4	16	17	8	7	7	5	4	97																																																																																																																
その他	11	8	15	5	9	37	52	33	28	29	28	31	286																																																																																																																
計	39	46	81	41	39	92	94	63	60	46	44	42	687																																																																																																																
地域福祉活動計画	計画外																																																																																																																												

< 参考資料 >

年 度	利用者数	うち新規利用者数
令和 4 年度	1 4 名	8 名
令和 3 年度	1 3 名	7 名

Ⅱ. 地域福祉事業	16 地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）
事業費総額	9, 150, 817円
財 源	市受託金、社協会費、その他（前期末支払資金残高）、一般財源
事業概要	・市の委託を受け、地域住民を主体とした助け合い・支え合い活動を推進し、高齢者等の日常生活上の困りごとに地域が主体的に取り組む仕組みづくりを支援します。 ・生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携するとともに、地域住民のみでは取り組むことが難しい地域ニーズに、ボランティアと協力できるような支援体制の充実・強化に努めます。 ・生活支援コーディネーターの充実と質の向上のため、研修に参加します。
実施内容・実績	ア 地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）の実施 ●市内全域（第1層）の取り組み 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体（第1層協議体）会議を年2回開催し、6月豪雨災害時における取組について、移動支援について、各構成員の所属団体の地域活動について意見交換を交え共有しました。また、住民主体の助け合い活動を広めるための取り組みの一環で開催した「助け合い社会フォーラム」には108名が参加しました。 市民の方の生活を支えるためのサービス・活動等を紹介した冊子「社会資源リスト」を作成したほか、各地区の第2層協議体の活動や、海南市内見守り活動についてまとめたチラシを作成し、地域の助け合い・支え合い活動の啓発を行いました。 ●旧小学校区（第2層）の取り組み（協議体設置地区） 地域において助け合いや支え合いについて協議できる場づくりの推進や地域課題の解決に向け、下記地区（第2層協議体）における話し合いや取り組みを支援しました。 ・黒江・船尾地区（黒江・船尾のかたり場～ムダ話はムダじゃない～） 第2層協議体が令和5年11月に発足し、定例会において地域課題への取り組みに向けて協議しました。 ・日方地区（日方パーク郷土の愛～共助と絆～） 地域の集いの場を紹介する広報誌「みなさんお元気ですか。」を4回発行し、地域活動の意味づけや啓発を行いました。また、小学生と一緒に高齢者宅を訪問し、掃除をしながら会話をするなどの交流や小学校と連携してまちあるき等の地域学習を実施しました。 その他、海南高等学校、海南中学校、民生委員児童委員協議会の協力を得て、6月豪雨災害により被災された世帯へよりそい訪問を実施することで、よりそいパックを届けました。

	・内海地区（HiRoBa.com ひろばどっとこむ） 内海東部地区集会所の役員の中から有志で集まった構成員で第2層協議体が令和6年2月に発足し、毎月の定例会で地域における支え合いについて協議しました。 ・冷水地区（しみず見守り隊 ①あわせみんなであつと元気に） 県生活支援専門アドバイザー派遣事業を活用し、外出支援ボランティア講習会を実施しました。講習会参加者を構成員とした第2層協議体が令和5年11月に発足し、高齢者の見守り活動の開始に向け、民生委員や自治会と活動内容を共有し、協力体制の強化を図りました。見守り活動の対象者にアンケート調査を実施し、その結果をもとに移動販売の誘致を行いました。 ・亀川地区（亀川ささえ愛） 地域の歴史を知り、地域への愛着を持ってもらうことを目的に、亀川小学校で地区の昔のくらしや道具などについての授業を行った他、月1回実施していた小学生の見守り活動を週1回に増やしました。また、新たな地域の集いの場づくりに向けて協議しました。 ・巽地区（巽ささえあい） サロンやラジオ体操などの地域活動を把握し、地域活動の充実・強化に向けた情報共有を行いました。また、地区の防災意識向上のため自治会単位や班単位での話し合いを促進しました。 ・北野上地区（ななさとコミュニティ協議会） 北野上地区自治会連絡協議会及び自主防災会と合同で6月豪雨災害を振り返る地域座談会を開催し、災害時の状況や平常時のつながり作りについて協議しました。 ・下津地区（下津ファミリー） 誰でも気軽に参加できるウォーキングやレクリエーションで楽しんでもらうことを目的に「ふれあいイベント」を開催しました。また、サロンやラジオ体操などの地域活動先への訪問・取材を行い、地域活動をまとめた冊子を作成しました。 ・大東地区（大東ふれ愛プラザ方方） 高齢者の居場所として体操教室を月2回開催し、健康維持増進や参加者同士の交流を図るとともに、小学生の登下校の見守りに合わせて高齢者同士の見守りも行いました。 ・大崎地区（大崎助け合い・支え合い） 協議の場づくりに向けて、区長等で方針や目的などについて協議を重ねました。 ・塩津地区（塩津MTS） 挨拶や声かけなどの見守り活動を行っていくにあたり、対象となる世帯の共有を行いました。また、健康維持増進や参加者同士が交流できる居場所づくりとして、いきいき百歳体操を実施しました。
--	--

第2層協議体への活動費の支援

地域福祉の向上と協議体活動の拡充及び促進を図るため、申請のあった第2層協議体2団体（巽ささえあい・塩津MTS）に地域福祉活動支援事業助成金を交付しました。（交付額100,000円）

●旧小学校区（第2層）の取り組み（協議体未設置地区）

加茂第二地区においては自治会長等の地域のキーパーソンと思われる方々に、生活支援体制整備事業の概要や必要性の説明を行い、協議体の立ち上げに向けた働きかけを行いました。

大野、加茂第一、仁義地区においては地域へ入るきっかけづくりとして地域座談会を実施し、地域活動状況や地域課題についての話し合いを行いました。

中野上、南野上地区においては6月豪雨災害を振り返る地域座談会を開催し、災害時の状況や平常時のつながりづくりについての話し合いを行いました。また、地域活動に参加し、地域のキーパーソンの把握に努めるとともに、新たな地域の居場所づくりに向けて協議しました。

イ 社会福祉法人等との連携

市内社会福祉法人等各種施設・団体を訪問し、地域貢献活動についてヒアリング・アンケート調査（16施設・団体）を行うとともに、地域のニーズに応じた具体的な支援内容について協議し、こども食堂立ち上げにあたって寄附で支援いただくなど地域活動とのマッチングを行いました。

地域ケア推進会議や医療・介護連携推進会議に参加し、生活支援体制整備事業の説明、第1層及び第2層協議体の取組説明を行いました。

ウ 生活支援コーディネーターの充実と質の向上

県主催の生活支援コーディネーター実践研修会、全社協主催の生活支援コーディネーター研修協議会、県生活支援専門アドバイザー派遣事業を活用してアドバイザーを招いての圏域職員研修会など、様々な機会を捉えて生活支援コーディネーターの質の向上に努めました。

エ 地域ニーズへのボランティアの対応

食を通じて幅広い世代が気軽に集える地域の居場所づくりを行うため、ながみね農業協同組合と協力して「こども食堂ボランティア養成講座」を実施（参加者21名）し立ち上げ支援を行うとともに、参加された4施設・団体と多様な居場所づくりについて協議しました。

	オ 移送サービス提供体制の検討 県生活支援専門アドバイザー派遣を活用し、住民互助による高齢者の外出支援について冷水地区で講習会を行いました。（参加者１３名） 空き時間を活用して、買い物等外出に課題のある方々の支援を行う移動支援ボランティアを養成する運転者講習会を実施しました。（参加者１０名）
地域福祉活動計画	基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）、コミュニティワーカーの配置、社会福祉法人等との連携、生活支援コーディネーターの充実と質の向上、地域ニーズへのボランティアの対応 基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）、移送サービス提供体制の検討

<主な様子>

よりそい訪問（日方地区）



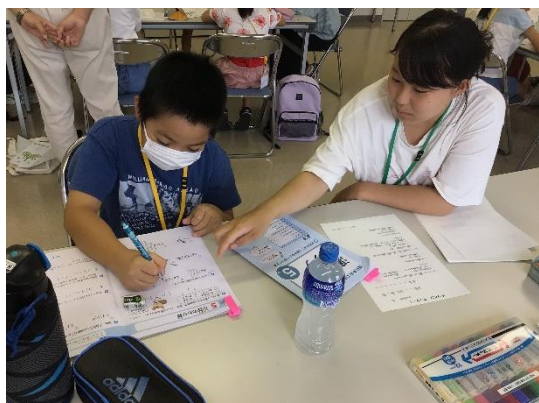
地域座談会（北野上地区）



Ⅱ．地域福祉事業	17 子どもの居場所づくり支援事業																																				
事業費総額	50,361円																																				
財 源	社協会費																																				
事業概要	・子どもの居場所づくりや子どもと大人の地域交流の場となるよう、こども食堂等の立ち上げ時の支援を行います。 ・こども食堂以外の子どもの居場所として、学生ボランティアや地域協力者等と学習やレクリエーションを通じて交流する学習支援の継続・拡充を図ります。																																				
実施内容・実績	●こども食堂の立ち上げの相談があった2か所に相談支援を行いました。 中野上地区……令和6年4月に1か所立ち上げ予定 下津地区……令和6年5月に1か所立ち上げ予定 ●こども食堂以外の子どもの居場所として海南高校、東京医療保健大学、大阪市立大学の学生ボランティアや地域協力者のもと、小学生を対象に学習支援を実施しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実 施 日</th><th>小学生</th><th>学生 ボランティア</th><th>地 域 協力者</th><th>場 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月4日</td><td>6名</td><td>0名</td><td>5名</td><td>巽コミュニティセンター</td></tr> <tr> <td>8月7日</td><td>10名</td><td>4名</td><td>1名</td><td>下津保健福祉センター</td></tr> <tr> <td>8月9日</td><td>10名</td><td>11名</td><td>0名</td><td>海南 nobinos</td></tr> <tr> <td rowspan="3">12月25日</td><td>7名</td><td>4名</td><td>1名</td><td>海南 nobinos</td></tr> <tr> <td>7名</td><td>0名</td><td>2名</td><td>巽コミュニティセンター</td></tr> <tr> <td>8名</td><td>1名</td><td>1名</td><td>下津保健福祉センター</td></tr> </tbody> </table>				実 施 日	小学生	学生 ボランティア	地 域 協力者	場 所	8月4日	6名	0名	5名	巽コミュニティセンター	8月7日	10名	4名	1名	下津保健福祉センター	8月9日	10名	11名	0名	海南 nobinos	12月25日	7名	4名	1名	海南 nobinos	7名	0名	2名	巽コミュニティセンター	8名	1名	1名	下津保健福祉センター
実 施 日	小学生	学生 ボランティア	地 域 協力者	場 所																																	
8月4日	6名	0名	5名	巽コミュニティセンター																																	
8月7日	10名	4名	1名	下津保健福祉センター																																	
8月9日	10名	11名	0名	海南 nobinos																																	
12月25日	7名	4名	1名	海南 nobinos																																	
	7名	0名	2名	巽コミュニティセンター																																	
	8名	1名	1名	下津保健福祉センター																																	
地域福祉活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：子どもの居場所づくり支援（こども食堂等）																																				

<主な様子>

学習支援



レクリエーション



<参考資料>

年 度	学習支援実施回数	延べ小学生参加者数	延べ学生ボランティア数
令和4年度	4回	19名	24名
令和3年度	3回	26名	5名

Ⅱ．地域福祉事業	18 認知症見守り・啓発事業
事業費総額	—
財 源	—
事業概要	・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的とした認知症支援ネットワーク会議等に参加し、認知症理解と啓発に努めます。
実施内容・実績	●認知症支援ネットワーク会議 令和5年5月22日、令和6年1月29日に開催された認知症支援ネットワーク会議に参加し、海南医師会、海南市、海南医療センター、海南市社会福祉協議会、介護事業所の認知症関連事業の取り組み状況の共有、今後の取り組みを協議しました。 ●海南市キャラバンメイト会議 令和5年4月13日、9月14日、11月9日に開催された海南市キャラバンメイト会議に参加し、認知症理解を深めるとともに「認知症サポーター養成講座」を企画し、今後の取り組みを協議しました。
地域福祉活動計画	基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：認知症見守り・啓発事業

Ⅱ. 地域福祉事業	1 9 福祉サービス利用援助事業																																																						
事業費総額	1 0 , 7 9 7 , 5 3 4 円																																																						
財 源	県社協受託金、県社協補助金、市補助金、その他（利用料）																																																						
事業概要	・県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力が不十分な高齢者や知的障害、精神障害のある方などが安心して日常生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続き援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行います。																																																						
実施内容・実績	判断能力が不十分な方が、安心して日常生活が送れるように、定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要な金銭の出し入れの手伝いを行うほか、福祉サービス以外の日常生活上の手続きについても、相談や情報提供を含め、できる範囲で支援を行いました。 ●利用状況 <table><tr><td></td><td>高 齢 者</td><td>知的障害者</td><td>精神障害者</td><td>そ の 他</td><td>合 計</td></tr><tr><td>令和4年度末利用者数</td><td>1 4 名</td><td>1 5 名</td><td>2 4 名</td><td>4 名</td><td>5 7 名</td></tr><tr><td>新規利用者数</td><td>4 名</td><td>1 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td><td>7 名</td></tr><tr><td>小 計</td><td>1 8 名</td><td>1 6 名</td><td>2 6 名</td><td>4 名</td><td>6 4 名</td></tr><tr><td>契約終了者数</td><td>4 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>0 名</td><td>9 名</td></tr><tr><td>令和5年度末利用者数</td><td>1 4 名</td><td>1 4 名</td><td>2 3 名</td><td>4 名</td><td>5 5 名</td></tr></table> ●サービス利用相談状況 <table><tr><td></td><td>高 齢 者</td><td>知的障害者</td><td>精神障害者</td><td>そ の 他</td><td>合 計</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>1 1 件</td><td>1 件</td><td>3 件</td><td>0 件</td><td>1 5 件</td></tr><tr><td>相談人数</td><td>1 0 名</td><td>1 名</td><td>3 名</td><td>0 名</td><td>1 4 名</td></tr></table> 本事業の利用が適当でない方については、行政、関係機関等と連携し必要なサービスが受けられるよう支援を行いました。		高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計	令和4年度末利用者数	1 4 名	1 5 名	2 4 名	4 名	5 7 名	新規利用者数	4 名	1 名	2 名	0 名	7 名	小 計	1 8 名	1 6 名	2 6 名	4 名	6 4 名	契約終了者数	4 名	2 名	3 名	0 名	9 名	令和5年度末利用者数	1 4 名	1 4 名	2 3 名	4 名	5 5 名		高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計	相談件数	1 1 件	1 件	3 件	0 件	1 5 件	相談人数	1 0 名	1 名	3 名	0 名	1 4 名
	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計																																																		
令和4年度末利用者数	1 4 名	1 5 名	2 4 名	4 名	5 7 名																																																		
新規利用者数	4 名	1 名	2 名	0 名	7 名																																																		
小 計	1 8 名	1 6 名	2 6 名	4 名	6 4 名																																																		
契約終了者数	4 名	2 名	3 名	0 名	9 名																																																		
令和5年度末利用者数	1 4 名	1 4 名	2 3 名	4 名	5 5 名																																																		
	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計																																																		
相談件数	1 1 件	1 件	3 件	0 件	1 5 件																																																		
相談人数	1 0 名	1 名	3 名	0 名	1 4 名																																																		
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：福祉サービス利用援助事業																																																						

< 参考資料 >

	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計
令和3年度末利用者数	15名	14名	23名	4名	56名

II. 地域福祉事業	2 0 生活資金貸付事業								
事業費総額	3 5 0, 0 0 0 円								
財 源	貸付基金								
事業概要	・ 災害や疾病、その他の事情により生活に困窮をきたした世帯に対し生活資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立の助長と生活意欲の向上を図ります。 <table><tr><td>貸付申込限度額</td><td>据置期間</td><td>償還期間</td></tr><tr><td>1 世帯につき 上限 7 0, 0 0 0 円</td><td>最長 6 か月</td><td>最長 2 年以内</td></tr></table> ・ 貸付後も、随時状況確認を行い、自立に向け継続的に適切な支援を行うことで滞納者を増やさないよう努めるとともに、滞納者をリストアップし、臨戸訪問や督促などにより償還率の向上を図ります。			貸付申込限度額	据置期間	償還期間	1 世帯につき 上限 7 0, 0 0 0 円	最長 6 か月	最長 2 年以内
貸付申込限度額	据置期間	償還期間							
1 世帯につき 上限 7 0, 0 0 0 円	最長 6 か月	最長 2 年以内							
実施内容・実績	自立相談支援窓口と連携し、貸付が必要な方の早期発見に努めるとともに貸付後も随時状況確認を行い、自立に向け継続的に支援を行いました。 ●資金貸付状況 <table><tr><td>件 数</td><td>貸付金額</td><td>償還率（※）</td></tr><tr><td>5 件</td><td>3 5 0, 0 0 0 円</td><td>2 9. 7 %</td></tr></table> ※① 令和 5 年度の貸付金の総額 969,000 円 ② ①のうち償還猶予額 266,000 円 ③ 令和 5 年度中の償還済額 132,000 円 ④ 償還不能による免除額 258,000 円 償還率（%）＝（③/（①－②－④））×100			件 数	貸付金額	償還率（※）	5 件	3 5 0, 0 0 0 円	2 9. 7 %
件 数	貸付金額	償還率（※）							
5 件	3 5 0, 0 0 0 円	2 9. 7 %							
地域福祉活動計画	基本目標 2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：資金貸付事業（生活資金）								

<参考資料>

年 度	件 数	貸付金額	償還率
令和4年度	8件	160,000円	24.8%
令和3年度	6件	260,000円	34.0%

Ⅱ．地域福祉事業	2 1 生活福祉資金貸付事業						
事業費総額	7, 1 7 8, 8 2 6 円						
財 源	県社協受託金						
事業概要	・ 県社会福祉協議会の委託を受け、低所得者世帯、高齢者世帯又は障害者世帯に対して資金を貸し付けて生活を経済的に支えるとともに、社会参加の促進を図ります。 ・ 生活福祉資金特例貸付の償還が滞る世帯に対して状況確認を行い、生活に困窮している世帯は生活困窮者自立相談支援事業等につなげます。						
実施内容・実績	●生活福祉資金貸付						
	低所得者、高齢者、障害者の方々が安定した生活を営むために、また世帯の生計中心者の失業等により生計の維持が困難となった世帯への援助施策として、次のとおり生活福祉資金貸付事業を実施しました。						
	貸 付 種 類		件 数	貸 付 金 額			
	福祉資金	福祉費	1 件	5 3, 0 0 0 円			
	教育支援資金	就学支度費	2 件	9 0 0, 0 0 0 円			
	合 計		3 件	9 5 3, 0 0 0 円			
	●コロナ特例貸付						
	貸付申請は令和4年9月30日をもって終了し、令和5年1月から返済が始まり、償還免除の対象となる方には手続支援等を行うほか、対象に当てはまらない方には自立相談支援窓口と連携を取りながら継続して支援しています。						
		償還免除		償還完了		償還猶予	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数
R4 年度	73	117	20	26	2	4	
R5 年度	18	36	1	1	4	8	
合 計	91	153	21	27	6	12	
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：資金貸付事業（生活福祉資金）						

<参考資料>

年 度	生活福祉資金貸付		コロナ特例貸付	
令和4年度	3 件	2 2 5, 0 3 0 円	1 9 件	5, 9 5 0, 0 0 0 円
令和3年度	4 件	2, 6 3 5, 0 0 0 円	1 0 9 件	4 4, 1 8 0, 0 0 0 円

Ⅲ. 在宅福祉事業	1 いきいき介護予防事業																				
事業費総額	15,092,000円																				
財 源	市受託金																				
事業概要	・市の委託を受けて、高齢者の自立的生活を助長するとともに、利用者相互のふれあいと交流を深め、健康の保持及び増進を図ります。																				
実施内容・実績	下津保健福祉センターにおいて、検温や血圧などの健康チェック、いきいき百歳体操、レクリエーション、カラオケ、入浴、給食、送迎等のサービスを提供しました。（開所日数：227日）																				
	<table><tr><td>延べ利用者数</td><td>男 性</td><td>女 性</td><td>合 計</td></tr><tr><td>地 区 等</td><td>402名</td><td>1,006名</td><td>1,408名</td></tr><tr><td>一人暮らし</td><td>82名</td><td>370名</td><td>452名</td></tr><tr><td>フリーデイ</td><td>661名</td><td>666名</td><td>1,327名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,145名</td><td>2,042名</td><td>3,187名</td></tr></table>	延べ利用者数	男 性	女 性	合 計	地 区 等	402名	1,006名	1,408名	一人暮らし	82名	370名	452名	フリーデイ	661名	666名	1,327名	合 計	1,145名	2,042名	3,187名
	延べ利用者数	男 性	女 性	合 計																	
	地 区 等	402名	1,006名	1,408名																	
一人暮らし	82名	370名	452名																		
フリーデイ	661名	666名	1,327名																		
合 計	1,145名	2,042名	3,187名																		
	<table><tr><td rowspan="2">実利用者数</td><td>男 性</td><td>女 性</td><td>合 計</td></tr><tr><td>82名</td><td>200名</td><td>282名</td></tr></table>	実利用者数	男 性	女 性	合 計	82名	200名	282名													
実利用者数	男 性		女 性	合 計																	
	82名	200名	282名																		
地域福祉活動計画	計画外																				

<主な様子>

いきいき百歳体操



レクリエーション



<参考資料>

年 度	延べ利用者数			実利用者数			開所日数
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
令和4年度	875名	1,611名	2,486名	83名	196名	279名	217日
令和3年度	368名	756名	1,124名	65名	142名	207名	112日

IV. その他の関連事業	1 共同募金運動																
事業費総額	4 3 1, 9 2 2 円																
財 源	共同募金事務費																
事業概要	・ 地域福祉活動の財源となる赤い羽根共同募金を広く募集するため、運動期間（1 0 月 1 日～翌年3 月 3 1 日）に戸別、街頭、職域、店頭等の各種募金運動を実施します。 ・ 共同募金協力型自動販売機の設置を進めます。																
実施内容・実績	●共同募金 自治会、海南市、民生委員・児童委員及びボランティアの協力を得て、共同募金運動を実施しました。																
	<table><tr><td>目 標 額</td><td>実 績 額</td><td>達 成 率</td></tr><tr><td>8, 6 1 5, 0 0 0 円</td><td>7, 0 1 6, 3 8 6 円</td><td>8 1. 4 %</td></tr></table>			目 標 額	実 績 額	達 成 率	8, 6 1 5, 0 0 0 円	7, 0 1 6, 3 8 6 円	8 1. 4 %								
	目 標 額	実 績 額	達 成 率														
	8, 6 1 5, 0 0 0 円	7, 0 1 6, 3 8 6 円	8 1. 4 %														
	《実績額内訳》																
	<table><tr><td>戸別募金</td><td>5, 6 7 9, 8 6 6 円</td></tr><tr><td>街頭募金</td><td>1 5 3, 3 2 9 円</td></tr><tr><td>職域募金</td><td>6 8 7, 2 0 8 円</td></tr><tr><td>個人募金</td><td>1 1, 1 1 1 円</td></tr><tr><td>店頭募金</td><td>3 2, 4 9 5 円</td></tr><tr><td>県共募受入れ募金</td><td>4 5 2, 3 7 7 円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>7, 0 1 6, 3 8 6 円</td></tr></table>			戸別募金	5, 6 7 9, 8 6 6 円	街頭募金	1 5 3, 3 2 9 円	職域募金	6 8 7, 2 0 8 円	個人募金	1 1, 1 1 1 円	店頭募金	3 2, 4 9 5 円	県共募受入れ募金	4 5 2, 3 7 7 円	合 計	7, 0 1 6, 3 8 6 円
	戸別募金	5, 6 7 9, 8 6 6 円															
	街頭募金	1 5 3, 3 2 9 円															
	職域募金	6 8 7, 2 0 8 円															
	個人募金	1 1, 1 1 1 円															
店頭募金	3 2, 4 9 5 円																
県共募受入れ募金	4 5 2, 3 7 7 円																
合 計	7, 0 1 6, 3 8 6 円																
コロナの影響により中止していた街頭募金をオークワ3店舗、松源3店舗、とれたて広場、海南駅の協力のもと、4年ぶりに実施しました。																	
●共同募金協力型自動販売機 売上げの一部が共同募金に寄付される共同募金協力型自動販売機について広報紙及びホームページに掲載し、周知及び設置の呼びかけを行いました。（累計6台）																	
地域福祉活動計画	基本目標 1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：共同募金事業																

<主な様子>

街頭募金



<参考資料>

年 度	目 標 額	実 績 額	達 成 率
令和4年度	8,615,000円	7,276,606円	84.5%
令和3年度	8,615,000円	7,694,713円	89.3%

年 度	自動販売機設置台数（累計）
令和4年度	7台
令和3年度	7台

IV. その他の関連事業	2 赤十字活動資金事業												
事業費総額	2 9 3, 6 0 0 円												
財 源	日本赤十字事務費												
事業概要	・地震や台風などの自然災害や紛争、病気などに対する国内外での復興支援、救済活動、また救急法に基づく応急手当の知識と技術の普及などを行うため、赤十字活動資金を募集（5月1日～5月31日）します。												
実施内容・実績	●赤十字活動資金 自治会、海南市及び赤十字奉仕団の協力を得て、赤十字活動資金募集を実施しました。												
	<table><tr><td>目 標 額</td><td>実 績 額</td><td>達 成 率</td></tr><tr><td>7, 1 3 0, 0 0 0 円</td><td>6, 0 1 5, 5 1 3 円</td><td>8 4. 4 %</td></tr></table>			目 標 額	実 績 額	達 成 率	7, 1 3 0, 0 0 0 円	6, 0 1 5, 5 1 3 円	8 4. 4 %				
	目 標 額	実 績 額	達 成 率										
	7, 1 3 0, 0 0 0 円	6, 0 1 5, 5 1 3 円	8 4. 4 %										
	●義援金 災害により被災された方々を支援するための義援金の受付を行い、日本赤十字社へ全額送金しました。												
	<table><tr><td>名 称</td><td>金 額</td></tr><tr><td>令和5年台風第2号等大雨災害義援金</td><td>1 1 3, 6 7 1 円</td></tr><tr><td>令和5年6月30日からの大雨災害義援金</td><td>1, 6 7 4 円</td></tr><tr><td>令和5年7月7日からの大雨災害義援金</td><td>2, 4 5 4 円</td></tr><tr><td>令和6年能登半島地震災害義援金</td><td>2, 7 8 0, 6 8 3 円</td></tr></table>			名 称	金 額	令和5年台風第2号等大雨災害義援金	1 1 3, 6 7 1 円	令和5年6月30日からの大雨災害義援金	1, 6 7 4 円	令和5年7月7日からの大雨災害義援金	2, 4 5 4 円	令和6年能登半島地震災害義援金	2, 7 8 0, 6 8 3 円
	名 称	金 額											
	令和5年台風第2号等大雨災害義援金	1 1 3, 6 7 1 円											
	令和5年6月30日からの大雨災害義援金	1, 6 7 4 円											
	令和5年7月7日からの大雨災害義援金	2, 4 5 4 円											
令和6年能登半島地震災害義援金	2, 7 8 0, 6 8 3 円												
●救援金 海外において災害により被災された方々の救助活動等に使用するための救援金の受付を行い、日本赤十字社へ全額送金しました。													
<table><tr><td>名 称</td><td>金 額</td></tr><tr><td>2 0 2 3 年トルコ・シリア地震救援金</td><td>2 5 6, 4 3 2 円</td></tr><tr><td>2 0 2 3 年アメリカ・ハワイ火災救援金</td><td>1 1, 9 1 4 円</td></tr></table>			名 称	金 額	2 0 2 3 年トルコ・シリア地震救援金	2 5 6, 4 3 2 円	2 0 2 3 年アメリカ・ハワイ火災救援金	1 1, 9 1 4 円					
名 称	金 額												
2 0 2 3 年トルコ・シリア地震救援金	2 5 6, 4 3 2 円												
2 0 2 3 年アメリカ・ハワイ火災救援金	1 1, 9 1 4 円												
地域福祉活動計画	計画外												

<参考資料>

赤十字活動資金

年 度	目 標 額	実 績 額	達 成 率
令和4年度	7, 1 6 0, 0 0 0 円	6, 2 9 7, 0 7 2 円	8 7. 9 %
令和3年度	7, 3 9 0, 0 0 0 円	6, 4 7 3, 1 3 3 円	8 7. 6 %